

画像電子学会

第10回画像ミュージアム研究会のご案内

画像ミュージアム研究会では、画像電子技術の博物館応用、ならびにデジタル技術を利用した博物館情報の流通に必要な技術の研究成果を集め、情報交換を行う場を提供しています。このたび“博物館資料とその情報”というテーマで、以下のプログラムで第10回画像ミュージアム研究会を開催いたします。多数のみなさまのご参加をお待ちしております。

日時：2012年3月2日（金） 12:45～17:00

場所：国立歴史民俗博物館 大会議室（研究部・管理部入り口から入館ください）

〒285-8502 千葉県佐倉市城内町 117

<http://www.rekihaku.ac.jp/>

テーマ：博物館情報の高度利用

協賛：国立歴史民俗博物館共同研究「デジタル化された歴史研究情報の高度利用に関する研究」

資料代：500円

プログラム

12:45-12:50 座長 開会挨拶

12:50-13:15 「歴史データベースにおける検索インターフェース設計のためのガイドライン作成」
小野田賢人、徳永幸生、杉山精（芝浦工業大学）、安達文夫（国立歴史民俗博物館）

13:15-13:40 「博物館関連語検索のための木構造を反映した資料群の構成法」
山田 篤、小町祐史、安達文夫
（京都高度技術研究所、大阪工業大学、国立歴史民俗博物館）

13:40-14:05 「資料の濃い構造化と活用のためのアノテーションモデル—より知るために、より深く、濃く」
津田光弘（イパレット）

14:05-14:30 「時間と場所の情報を有する大量の写真画像の提示方法の検討」
田中紀之、徳永幸生、杉山精（芝浦工業大学）、安達文夫（国立歴史民俗博物館）

14:30-14:55 「歴史資料画像の任意の対応点に基づく比較表示と対応点設定手法の検討」
川北明広、徳永幸生、杉山精（芝浦工業大学）、安達文夫（国立歴史民俗博物館）

14:55-15:10 <休憩>

15:10-15:35 「国文学資料の電子的展示技法に関する研究〈仮〉」
北村啓子（国文学研究資料館）

15:35-16:00 「デジタルアーカイブ用文化財展示システムの試作」
宮下朋也、田中法博（長野大学）、望月宏祐（信州大学）、村田良二（東京国立博物館）、鈴木卓治（国立歴史民俗博物館）

16:00-16:25 「正倉院文書における画像処理を用いた切り分け位置の検出手法の検討」
脇 正宏、徳永幸生、杉山精（芝浦工大）、安達文夫（国立歴史民俗博物館）

16:25-16:50 「スマートフォンの未校正カメラを用いた分光画像計測」
戸谷重幸、田中法博（長野大学）、望月宏祐（信州大学）

16:50-17:00 座長 閉会挨拶

参加申込方法：

参加申し込みは、2月29日（水）までに以下の画像電子学会のホームページから行って下さい。

<http://www.iieej.org/trans/kenaf.htm>